

11月16日は投票に行って下さい！

4年前の松戸市議選の投票率、約40%。組織票を引くと、純粋な民意はたったの20%。「組織票以外、誰もオレ達（役所）を監視していないから公約なんて無視さ」。それが市の本音。だから64億円のはずの市立病院建て替え予算は400億円に？！そして行革にも未着手。暴走する市民不在の市政を止められるのは、もはやあなたの1票でしかないのでした。だから

『市にも議会にも期待などしない！どうせ1票じゃ変わらない！』
でもあなたが呆れる市政を変えられるのも、その1票でしかない

4年前の市議会議員選挙の投票率は、41.11%。

たった4割の票だけで議員が決まった？

実はそれどころではないくらい、事実は危機的です。

地域には「組織票」というものがあります。

4割しかない投票の半分は、その組織票だといわれています。

つまり、自由な意で議員を選んでいるのはわずか2割です！

「組織票で当選した議員を大事にするよ」。

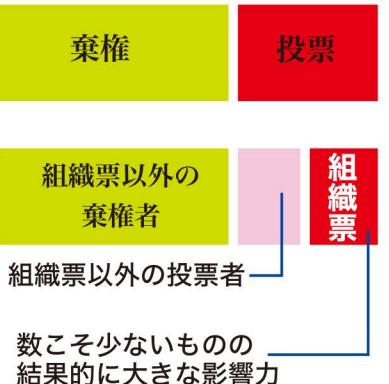
残念ながらこれが今の市政の本音なのです。だから・・・

だから皆さんにお願いです。

投票する先がみのわ信矢でなくてもいい。

健全な市政を市民の手に取り戻すために

11月16日は、とにかく投票に行って下さい！



あなたの払った税金はみんなのために使われるべきであって
こんなコトをさせるためにあなたが頑張ったわけじゃない

64億円で大丈夫とされていた
松戸市立病院の建て替え予算

→ いつの間にか400億円も超える恐れ

選挙の恩返しか市長が30代の
若者を1千万円／年で部長職に

→ 当然職員はやる気を失いモラル低下

恩を売れそうなNPO法人に対し
甘い見通しで補助を予算化？

→ 県からの補助金返還請求などで混乱

保守系議員はムダな大規模公共事業にも反対などしない。そう思われている。
みのわ信矢は、現在の市立病院移転候補地に、かつて市が100億円
で公園造成を計画した際に、カラダを張って阻止しました。

QRコードから議事録を開き、「箕輪、千駄堀最終処分場」で検索を。

高齢者の豊かな生活

- 老齢医療や介護制度の拡充と、同居家族への支援
- 家計に負担の小さな在宅医療・介護の実現
- たくさんの人とのふれあいと学びがある
生涯学習環境の整備

女性の暮らしをフルサポート!

- 小さな命の誕生と健康のため周産期医療および
小児救急体制の拡充 / 女性の健康維持・促進
- 保育所、放課後児童クラブの充実
- 「女性サポートプラン」推進で少子化対策

みのわの政策

豊かな教育と子供達の安全

- 人間だけでなく、あらゆる命との共生は先進国の
責任です。みのわ信矢もこれまで、殺処分寸前の
犬や猫とともに暮らしてきました。しかし無責任
なペットの遺棄や動物虐待が社会問題化している
今、動物殺処分ゼロを実現させます！

**生まれ変わる市立病院を
核とした安心ネットワーク**

- 大きな課題と言える新病院の移転・建て替え。取
りざたされるのは場所や予算の話題ばかりです。
しかし本当に大切なのは、新病院の機能や役割。
そして、松戸市の医療への哲学が問われています。
これから松戸に必要なのは、豊かな在宅医療や
介護を実現するための医療ネットワーク。単に箱
モノとしての病院建設に終わるのではなく、心から
安心できる福祉医療の体制づくりを構築し、高齢
医療における最先進都市を目指します！

SANDINISTA（サンディニスタ）

みのわ信矢の機関紙のひとつである「サンディニスタ」。その名の由来は、ニカラグアを独裁的に支配してきたソモサ一族の圧政から逃れるため、キューバ革命の影響を受けて1961～90年の間で展開された政治的闘争にある。79年にはソモサ独裁政権を倒し、主権を国民へと奪取した。